

第19回アジア競技大会(2022/杭州)の日本代表選手の選出方法について

本年9月に開催される第19回アジア競技大会(2022/杭州)について、下記の通り選手の選考を行う。

I. フェンシング日本代表選手団派遣方針

日本代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、日本を代表するにふさわしく、かつ参加各国・地域との国際親善に寄与できる選手・役員をもって編成する。

また、日本オリンピック委員会は、本大会を2024年パリ五輪に向けた前哨戦として位置づけている。日本フェンシング協会としても、2018年ジャカルタ大会における男子エペ団体戦での金メダル獲得が、2020年東京五輪での同種目金メダル獲得へつながったことを鑑み、本大会を2024年パリ五輪でのメダル獲得に向けた重要な大会として位置付ける。

II. 大会期間

2022年 9月13日(火)～ 9月18日(日)

III. 開催国

中華人民共和国/杭州

IV. 実施種目

個人戦：男女フルーレ、男女エペ、男女サーブル

団体戦：男女フルーレ、男女エペ、男女サーブル

V. 派遣種目及び派遣人数

・本大会においては、日本の全競技ごとに選手枠数が割り振られているため、フェンシング競技においては個人戦では最大2名のみが出場可能。団体戦においては個人戦に出場する選手とは別に2名が出場可能。

男子フルーレ：個人・団体種目 2名 / 団体種目 2名 (計4名)

女子フルーレ：個人・団体種目 2名 / 団体種目 2名 (計4名)

男子エペ：個人・団体種目 2名 / 団体種目 2名 (計4名)

女子エペ：個人・団体種目 2名 / 団体種目 2名 (計4名)

男子サーブル：個人・団体種目 2名 / 団体種目 2名 (計4名)

女子サーブル：個人・団体種目 2名 / 団体種目 2名 (計4名) 計 24名

VI. 選考方法

各種目の派遣人数の内、下記の選考基準に基づきそれぞれ選考する。

(ア) 優先1：世界ランキングによる選考

* アジア競技大会における個人戦の組み合わせは、FIE 公式ランキング（個人）によって決定される。よって、本協会が目的とする世界大会でのメダル獲得に向け、予選の組み合わせを優位な状況にさせるためにも FIE 公式ランキング（個人）を選考基準の最優先事項として位置付ける。

① 選考対象と人数（各種目）

出場種目：個人戦及び団体戦

人 数：2名

② 選考対象大会

FIE 公式個人ランキング（2022年5月22日開催分終了時点最新ランキング）

（但し2019年以前に開催されたポイントは除く）

ワールドカップ、グランプリ大会等、全ての大会*とする。

*…海外の情勢等やむを得ない事情により派遣決定後に欠場した場合には、選考上の不利益が生じないよう強化本部・選考委員会にて協議する。

(イ) 優先2：強化本部からの推薦による選考

・本項における選考については、個人戦に出場しない団体戦のみに出場する団体要員選手を対象とする。

（推薦対象は FIE ランキング 64 位・F J E ランキング 12 位までとする）

（強化本部は、推薦対象全選手に選考理由をあらかじめ説明する。）

① 選考対象と人数（各種目）

出場種目：団体戦

人 数：2名

② 選考基準

・2022年5月22日時点における FIE 公式ランキング（個人）他、団体戦要員としての評価をするために、国内外の主要な大会（2021-2022シーズン）における団体戦への貢献度（団体戦での取得得点や勝敗など）や戦略的要素（予想される対戦選手との勝率など）の判定を加味し、怪我がなくコンディションが良好であると総合的に判断された者。

(ウ) その他

・「VI 選考方法 (ア) 優先 1 : 世界ランキングによる選考」において、FIE 公式個人ランキングの 64 位以内に該当する選手が 2 名 に満たない種目については下記の基準をもって選考する。

① 選考基準

・「日本フェンシング協会国内ランキング」、国内外の主要な大会成績とその内容（個人戦及び団体戦）の評価及び、怪我がなくコンディションが良好であると総合的に判断された者を強化本部が選考する。

VII. 選考手順

・本選考に則り選出された選手は、選考委員会での審議の上、理事会での承認をもって最終決定とする。

・理事会での決定後、日本フェンシング協会 HP における「選手選考等」にて最終結果を公表する。

その他

アジア競技会及びその派遣前後一週間（感染症対策のための隔離期間を含む）が全日本選手権個人戦と重複した場合、出場選手には特例措置として F J E シニアランキングポイントを 30 ポイント付与する。

以上